1　通常の使用方法

1.1 接続

携帯黒電話に携帯電話と、AC アダプタを接続してください。
携帯黒電話と、携帯電話のバッテリーが充電されていれば、AC アダプタを外して、持ち運ぶことができます。

1.2 au の携帯電話の場合の注意

au の携帯電話の場合、携帯電話を接続する度に、一旦受話器を取って、そして受話器を置く、という操作を行ってください。（携帯電話をハンズフリーモードにするため）。
ただし、この操作が不要な機種もあります。上記操作をしなくても、着信時にベルが鳴れば、上記操作は必要ありません。

1.3 充電

AC アダプタを差し込むと、携帯黒電話および接続した携帯電話の充電をします。
携帯黒電話の充電開始時には「キンコン」と鳴り、
終了時には「キンコン、キンコン」と鳴ります。
黒電話の充電池を完全に使い切ってしまった場合、AC アダプタを差し込んでから
「キンコン」と鳴るまでに 1 分程度かかる場合があります。

1.4 着信

携帯電話に着信があると黒電話内のベルが鳴ります。
ただし、マナーモードにしてある場合には鳴りません。（2.1 参照）

1.5 発信

受話器を上げて、受話器から「ツー」という音がするのを確認します。
黒電話のダイヤルを回してダイヤルします。
携帯電話の操作での発信も可能です。

1.6 フッキング

受話器が上がった状態の時に電話がかかってきた場合、電話を取るには、
フックを押して、0.5 秒以内に離してください。
受話器を置いた状態の時に電話がかかってきて、着信拒否をするには、
受話器を上げて、0.5 秒以内に置いてください。

1.7 短縮ダイヤル

受話器を上げてダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。

「キンコン」と鳴ったら指を離します。

「０」から「９」が、携帯にセットした短縮ダイヤル０～９に対応して、短縮発信できます。

（携帯の種類によっては短縮ダイヤルでなく、アドレス帳番号０００～００９に対応しているようです）。

1.8 リダイヤル

受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、フッキング（フックを押して、0.5 秒以内に離す）をしてください。

最後にダイヤルした番号にダイヤルします。

ただし、黒電話でダイヤルした番号に限ります。携帯電話の操作で発信したダイヤルにはこのリダイヤル機能は使えません。

リダイヤルが作動すると、ベルが「キンコン、キンコン、キンコン」と鳴ります。

受話器を上げて、フッキングを行う間には何もダイヤルしないでください。

使用できる電話番号は 15 桁までです。

出荷時は、リダイヤル禁止モードに設定されています（2.5 参照）。

2　各種モード設定

2.1 マナーモード

受話器を置いたまま「１」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン」と鳴り、マナーモードになり、着信ベルが鳴りません。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン、キンコン」と鳴り、マナーモードが解除されます。

2.2 メールマナーモード

ほとんどの機種では動作していないようですが、メール着信でもベルが鳴る機種があります。（通常のベルとは異なるパターンで鳴ります）。
これを無効にするには、受話器を置いたまま「２」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン」と鳴り、メールマナーモードになり、着信ベルが鳴りません。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン、キンコン」と鳴り、メールマナーモードが解除されます。

2.3 ソニーモード

ソニーの携帯電話で、ダイヤルに時間がかかると途中で発信モードが終了してしまい、ダイヤルできない場合があります。その場合ソニーモードを使用してください。
受話器を置いたまま「３」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン」と鳴り、ソニーモードになります。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン、キンコン」と鳴り、通常のモードになります。

ソニーモードで発信するには、以下のようにしてください。

1）受話器を上げてダイヤルを回してダイヤルします。
途中で発信モード（「ツーという音」）が終わる場合がありますが、
ダイヤルを続けてください。

2)フックを押して、0.5 秒以内に離してください（フッキング)。
すると発信動作を開始します。

カシオの電話機で、10 桁の電話番号の場合に発信しない場合があり、
その場合もソニーモードを使用してください。
使用できる電話番号は 15 桁までです。

2.4 新ドコモモード

NTT Docomoの一部の機種で、着信があると受話器を取らなくても、即座に通話状態になるものがあります。そのような場合は、以下のようにしてください。
受話器を置いたまま「４」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。するとベルが「キンコン」と鳴り、新ドコモモードになります。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン、キンコン」と鳴り、通常のモードになります。
また、新ドコモモードにした場合は、携帯電話とのコネクタを一度抜いて、再び差してください。

2.5 リダイヤル禁止モード

かばんの中に携帯黒電話を入れて運んだりする際、荷物が当たってフッキングされてしまい、勝手にリダイヤル機能が作動する可能性があります。
これを回避するために、以下の「リダイヤル禁止モード」を使用してください。
受話器を置いたまま「５」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン」と鳴り、リダイヤル禁止モードになります。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン、キンコン」と鳴り、通常のモードになります。
出荷時にはリダイヤル禁止モードに設定されています。

2.6 受信パリティチェック無効モード

携帯電話から黒電話内のマイコンへ送られる信号にはエラーチェックのためのデータ（パリティ）が含まれています。
もし、携帯黒電話使用直後から着信できない、という現象が発生した場合、以下の手順でこのエラーチェックを無効にするモードを試してみてください。
受話器を置いたまま「６」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン、キンコン」と鳴り、受信パリティチェックが無効になります。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン」と鳴り、受信パリティチェックが有効になります。
出荷時には受信パリティチェック有効モードに設定されています。

2.7 タイマー機能無効モード

タイマー機能が動作しないようにすることができます。
受話器を置いたまま「７」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン、キンコン」と鳴り、タイマー機能が使えるようになります。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン」と鳴り、タイマー機能が使えなくなります。
出荷時にはタイマー機能は無効に設定されています。

2.8 充電ベルサイレントモード

充電開始時・終了時に鳴るベル（1.3 参照）を鳴らさないようにします。
受話器を置いたまま「８」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン、キンコン」と鳴り、充電ベルサイレントモードになります。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン」と鳴り、充電ベルが鳴るモードになります。。
出荷時には、鳴るモードに設定されています。

2.9 リセット

携帯黒電話に何らかの異常（着信ベルが鳴らなくなるなど）が発生した場合、リセットを試してみてください。
受話器を置いた状態でダイヤル「０」を回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離してください。
指止めで長い時間指を止め、携帯電話のバックライトが OFF になってから指を離すと、黒電話のマイコンにリセットがかかり、携帯電話に信号を送出し、携帯電話のバックライトが ON になるはずなので、このことを確認するとリセットがかかったことを確実に確認できます。

各種モード設定が出荷時の状態に戻ります。
・リダイヤル禁止
・タイマー機能無効
・受信パリティチェック有効
になります。

2.10ベルテスト

受話器を置いたまま「８」をダイヤルすると呼び出し音のベルが鳴ります。
受話器を上げると止まります。

3　タイマー機能

タイマー機能は出荷時には無効になっています。有効にする方法は2.7を参照してください。

3.1　分単位タイマー

受話器を置いた状態で、「０」、そして２桁の数字の順でダイヤルしてください。
「キンコン、キンコン」と鳴り、タイマーがセットされます。１～９９分の設定が可能です。
（例：３分後にベルを鳴らしたい場合、受話器を置いたまま「０」「０」「３」と
ダイヤルします。）
２桁の数字（分）後にベルが鳴ります。ベルを止めるには、受話器をあげてください。

「０」を回した後に、タイマーセットをやめたい場合には、受話器をあげてください。
（１秒以上あげた後、戻してください）

また、一旦セットしたタイマーを解除するには、受話器を置いたまま、
「０」「０」「０」とダイヤルしてください。「キンコン、キンコン」と鳴ります。

通話中にタイマーの時間に達した場合、ベルが鳴ります。この場合、フッキング（フックを押して、0.5 秒以内に離す）をしてください。

タイマーの精度はあまり良くありません。あくまでも、目安として使ってください。

3.2　ワンタッチタイマー（秒単位タイマー）

受話器を置いた状態でダイヤル「１」を回します。「キンコン、キンコン」と鳴り、タイマーがセットされます。15 秒後にベルが鳴ります。
ベルを止めるには、受話器をあげてください。
同様に、「２」「３」「４」が、それぞれ 30 秒、45 秒、60 秒に対応します。

一旦セットしたタイマーを解除するには、受話器を置いたまま、
「０」「０」「０」とダイヤルしてください。「キンコン、キンコン」と鳴ります。

分単位タイマーと秒単位タイマーは同時には使えません。後から設定した方が有効になります。

3.3 タイマーベル回数の設定

タイマー設定時間に達したときに鳴るベルの回数を設定できます。

受話器を置いた状態で、「９」そして１桁の数字の順でダイヤルしてください。

（例：5 回にセットしたい場合は「９」「５」とダイヤルします)。

「キンコン、キンコン」と鳴り、タイマーのベルの鳴る回数がセットされます。

設定した数字の回数、１回～９回の設定ができます。「０」をセットした場合は、ずっと鳴り続けます。

「９」を回した後に、タイマーベル回数セットをやめたい場合には、受話器をあげてください。（１秒以上あげた後、戻してください）

出荷時には、８回に設定されています。

機能のまとめ

番号	受話器を取ってダイヤルする		受話器を置いてダイヤルする	
	普通にダイヤルを回す	ダイヤルを回し、指止めのところで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離す	普通にダイヤルを回す	ダイヤルを回し、指止めのところで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離す
1	通常のダイヤル発信	短縮 No.001 に発信	タイマー15 秒	マナーモード
2		短縮 No.002 に発信	タイマー30 秒	メールマナーモード
3		短縮 No.003 に発信	タイマー45 秒	ソニーモード
4		短縮 No.004 に発信	タイマー60 秒	新ドコモモード
5		短縮 No.005 に発信		リダイヤル禁止モード
6		短縮 No.006 に発信		受信パリティチェック無効
7		短縮 No.007 に発信		タイマー禁止モード
8		短縮 No.008 に発信	ベルテスト	充電ベルサイレントモード
9		短縮 No.009 に発信	タイマーベル回数設定	
0		短縮 No.000 に発信	01～99 分タイマーセット	リセット

以上です。
それでは、携帯黒電話ライフを楽しんでいただければ幸いです！

２００７年１２月　ＴＴＲＭＫＲ

ver 1.62